

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	高齢者2型糖尿病におけるダパグリフロジンの安全性に影響を与える要因についての検討
研究責任者	薬剤部 田尻 優吏亜
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	<p>高齢者は若年者に比べて薬物有害事象が発生しやすいと言われていません。近年上市されたSGLT2阻害薬であるダパグリフロジンはその作用機序から単独では低血糖を来しにくいですが、一方で脱水や性器・尿路感染症といった副作用を来しやすいため、高齢者に慎重投与となっています。</p> <p>今回、高齢者糖尿病におけるダパグリフロジンの適正使用推進を支援することを目的に副作用の発現状況やその発現に影響を与える要因について検討を行います。</p>
研究方法	<p>[対象] 2014年11月から2017年10月の間にダパグリフロジンを服用された65歳以上の糖尿病患者さんを対象とします。</p> <p>[方法] 診療録をもとにデータを収集し、個人情報が入り込まないよう匿名化を行ったうえで解析を行います。診療の記録を後から分析しますので、診療時点で利益・不利益を生じることはありません。</p> <p>[研究成果の公表について] 学会発表および学術論文として公表する予定です。またその際に個人情報を使用することはありません。</p> <p>本研究への登録を希望されない方は下記の問い合わせ先までご連絡ください。登録しないことを理由に不利益を生じることはありません。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 薬剤部 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：田尻 優吏亜 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604</p>